

2008 年度

科目名 <p style="text-align: center;">総合演習</p>	対象学科・学年 人間社会学部3 回生	担当者 <p style="text-align: center;">湯川 澄</p>		
授業テーマ 子どもの発達と環境				
授業の概要と目標 近年、ますます子どもの問題がクローズアップされてきている。青少年期に現れてくる問題はその多くは幼児期・少年期の発達や環境の問題にたどりつく。子どもが少年、そして青年へと成長していく過程で社会性の発達や環境への適応力が身についていくかどうかは、家庭、地域、学校などの環境が大きく関与している。 将来教職で、あるいは親としても子どもを育てることを念頭におき、自ら課題を見つけ「子どもの発達」とはなにかを学び、子どもをとりまく環境や発達とその障害についても考察する。そして、体験や文献調査や資料の収集を個人およびグループでおこない、相互の発表や意見交換を通じてこれらの問題の認識を深める。				
評価方法 授業に対して取り組む態度（調査や発表や共同作業）や出席状況およびレポートにより評価します。				
テキスト 適宜 プリント配付	著者	出版社		
参考書 適宜 紹介				
授業スケジュール・内容 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 問題意識を持つ 3. 発達についての理解 ① 4. " " ② 5. 課題・調査 (1) 6. " 発表 (2) 7. " 発表 (3) 8. 発表の総括 9. 発達についての理解 ③ 10. " ④ 11. グループによる研究 (1) 12. " (2) 13. " (3) 14. " 発表会 15. 実践と事例のまとめ </td> <td style="width: 70%; vertical-align: top; padding-left: 10px;"> <p>総合演習の概要と進め方について</p> <p>現代の子どもについて“気になること”をあげ、話し合う。</p> <p>子どもの心と体の発達についての基礎的理解（レクチャー）</p> <p style="text-align: right;">（レクチャー）</p> <p>テーマに関係することで課題を持ち、調べる。（個人）</p> <p style="text-align: right;">発表する。（個人）</p> <p style="text-align: right;">" "（個人）</p> <p>個々の課題による発表のまとめ</p> <p>発達段階・発達と障害等についての基礎的理解（レクチャー）</p> <p>特別支援教育（特に発達障害）についての理解（レクチャー）</p> <p>テーマに関してグループで課題を決め、調査・研究</p> <p>子どもの“気になること”の課題別のグループワーク</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p>グループワークで研究したものをもとに相互発表</p> <p>テーマについての話し合いを通じ演習の成果や反省を確認し、将来の方策や展望を話し合う。</p> </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 問題意識を持つ 3. 発達についての理解 ① 4. " " ② 5. 課題・調査 (1) 6. " 発表 (2) 7. " 発表 (3) 8. 発表の総括 9. 発達についての理解 ③ 10. " ④ 11. グループによる研究 (1) 12. " (2) 13. " (3) 14. " 発表会 15. 実践と事例のまとめ 	<p>総合演習の概要と進め方について</p> <p>現代の子どもについて“気になること”をあげ、話し合う。</p> <p>子どもの心と体の発達についての基礎的理解（レクチャー）</p> <p style="text-align: right;">（レクチャー）</p> <p>テーマに関係することで課題を持ち、調べる。（個人）</p> <p style="text-align: right;">発表する。（個人）</p> <p style="text-align: right;">" "（個人）</p> <p>個々の課題による発表のまとめ</p> <p>発達段階・発達と障害等についての基礎的理解（レクチャー）</p> <p>特別支援教育（特に発達障害）についての理解（レクチャー）</p> <p>テーマに関してグループで課題を決め、調査・研究</p> <p>子どもの“気になること”の課題別のグループワーク</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p>グループワークで研究したものをもとに相互発表</p> <p>テーマについての話し合いを通じ演習の成果や反省を確認し、将来の方策や展望を話し合う。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 問題意識を持つ 3. 発達についての理解 ① 4. " " ② 5. 課題・調査 (1) 6. " 発表 (2) 7. " 発表 (3) 8. 発表の総括 9. 発達についての理解 ③ 10. " ④ 11. グループによる研究 (1) 12. " (2) 13. " (3) 14. " 発表会 15. 実践と事例のまとめ 	<p>総合演習の概要と進め方について</p> <p>現代の子どもについて“気になること”をあげ、話し合う。</p> <p>子どもの心と体の発達についての基礎的理解（レクチャー）</p> <p style="text-align: right;">（レクチャー）</p> <p>テーマに関係することで課題を持ち、調べる。（個人）</p> <p style="text-align: right;">発表する。（個人）</p> <p style="text-align: right;">" "（個人）</p> <p>個々の課題による発表のまとめ</p> <p>発達段階・発達と障害等についての基礎的理解（レクチャー）</p> <p>特別支援教育（特に発達障害）についての理解（レクチャー）</p> <p>テーマに関してグループで課題を決め、調査・研究</p> <p>子どもの“気になること”の課題別のグループワーク</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p>グループワークで研究したものをもとに相互発表</p> <p>テーマについての話し合いを通じ演習の成果や反省を確認し、将来の方策や展望を話し合う。</p>			